

## 第2節 競技スポーツの振興

### ○現 状

#### (1) トップアスリートへの支援

メキシコオリンピックで金メダル、銅メダルと兄弟で表彰台に立った重量挙げの三宅義信氏、三宅義行氏や、2010年のバンクーバー冬季五輪でスケルトン女子日本代表となった小室希選手をはじめ、世界レベルで活躍している選手を町から輩出しています。また、様々な種目で全国レベルの大会に出場し活躍しています。

こういった選手への支援体制については、現在、村田町スポーツ振興協会において資金援助事業、表彰事業を行い、側面からの支援を実施しております。こうした支援事業を継続しながら、実際に直接選手をサポート、支援している指導者側への支援を拡充していく必要があります。

#### (2) 村田町体育協会

競技スポーツについては、村田町体育協会を中心に、各加盟協会がそれぞれに大会開催なども含めた活動を実施しており、数々の成果を残しているところです。さらなる競技力向上のためにも、各加盟協会の活動を支援していく必要があります。

#### (3) 子どもたちがやりたい競技に取り組める環境

少子化の影響から、中学校の部活動をこれまで通り継続していくことが困難になってきています。中学校の部活動と地域が連携し、子どもたちがやりたい競技種目に取り組める環境整備を行う必要があります。

### ◀ 課 題 ▶

- (1) トップアスリートへの支援と指導者への支援
- (2) 村田町体育協会への支援
- (3) 競技力の向上を目指した活動への支援

○課題解決のための具体的施策

(1) トップアスリートへの支援体制の充実

村田町スポーツ振興協会が行っている資金援助事業、顕彰事業を継続実施していくとともに、指導者への支援についてどのような支援が必要なのか、どういった支援が実現可能なのか検討、実施していくことで指導者の育成に努めます。

◎具体的な取り組み、実施事項

- 1) スポーツ振興協会を通じて、全国大会などに出場する選手を対象に行う助成事業を継続実施します。
- 2) スポーツ振興協会を通じて、素晴らしい成績を収めた選手への顕彰事業を継続実施します。
- 3) 指導者の養成や、より高度な指導技術を持った指導者の育成を図るための支援方策について検討していきます。(例：指導者を対象により高度な指導技術の習得を目的として参加する研修会への参加費用などを助成する制度の創設など)



## ○課題解決のための具体的施策

## (2) 体育協会への支援

競技スポーツ振興の中心を担う体育協会の活動を支援することで、各競技種目ごとの活動の更なる活性化を図り、競技力向上を目指した活動に対し支援していきます。

## ◎具体的な取り組み、実施事項

- 1) 競技力向上のために、体育協会や各加盟協会が実施する事業を支援していきます。特に、体育協会や加盟協会が会員のみならず全町民を対象として開催するようなスポーツ大会の実施を支援していきます。
- 2) 社会体育施設の使用料について、これまで行っている減免制度の適用を継続することにより、体育協会や各加盟協会が活発に活動できるよう支援していきます。
- 3) 新たな指導者の育成や体育協会の活動の更なる活性化を図るためにも、研修会の機会を確保することなどにより支援をしていきます。
- 4) 体育協会の組織運営について、事務局としての支援を継続して行っていきます。一方で、将来的な体育協会の自立運営、組織運営のあり方についても検討していきます。



○課題解決のための具体的施策

(3) 競技力の向上を目指した活動への支援

学校の部活動と地域のスポーツ関係団体とがともに連携し、地域全体で子どもたちがやりたいスポーツ種目に取り組める環境づくりを進めていきます。

◎具体的な取り組み、実施事項

- 1) 現在、実施している村田町学校支援事業<sup>※6</sup>と連携し、学校のニーズに応じて、地域の優れた人材を学校の部活動へ派遣できる仕組みを整備していきます。
- 2) 子どもたちがやりたいスポーツ種目に取り組めるよう、学校の部活動と体育協会やスポーツ少年団などの地域のスポーツ関係団体が連携を図り、お互いが共通認識の下に子どもたちのスポーツ活動を支援する体制を整えていきます。



<sup>※6</sup> 学校の要望に応じて、地域の学校支援ボランティアを派遣し、地域と学校が一体となって子どもを育てる事を目的とした事業。